

栃木県における若年層献血者 確保の取組について

令和7年11月10日（月）

栃木県保健福祉部医薬・生活衛生課

はじめに

栃木県では、若年層のうち特に10代献血者の協力が多く、その背景には、全国的にも高い水準にある高校献血の実施率に大きく起因している。

⇒毎年、8割以上の学校で高校献血を実施している。

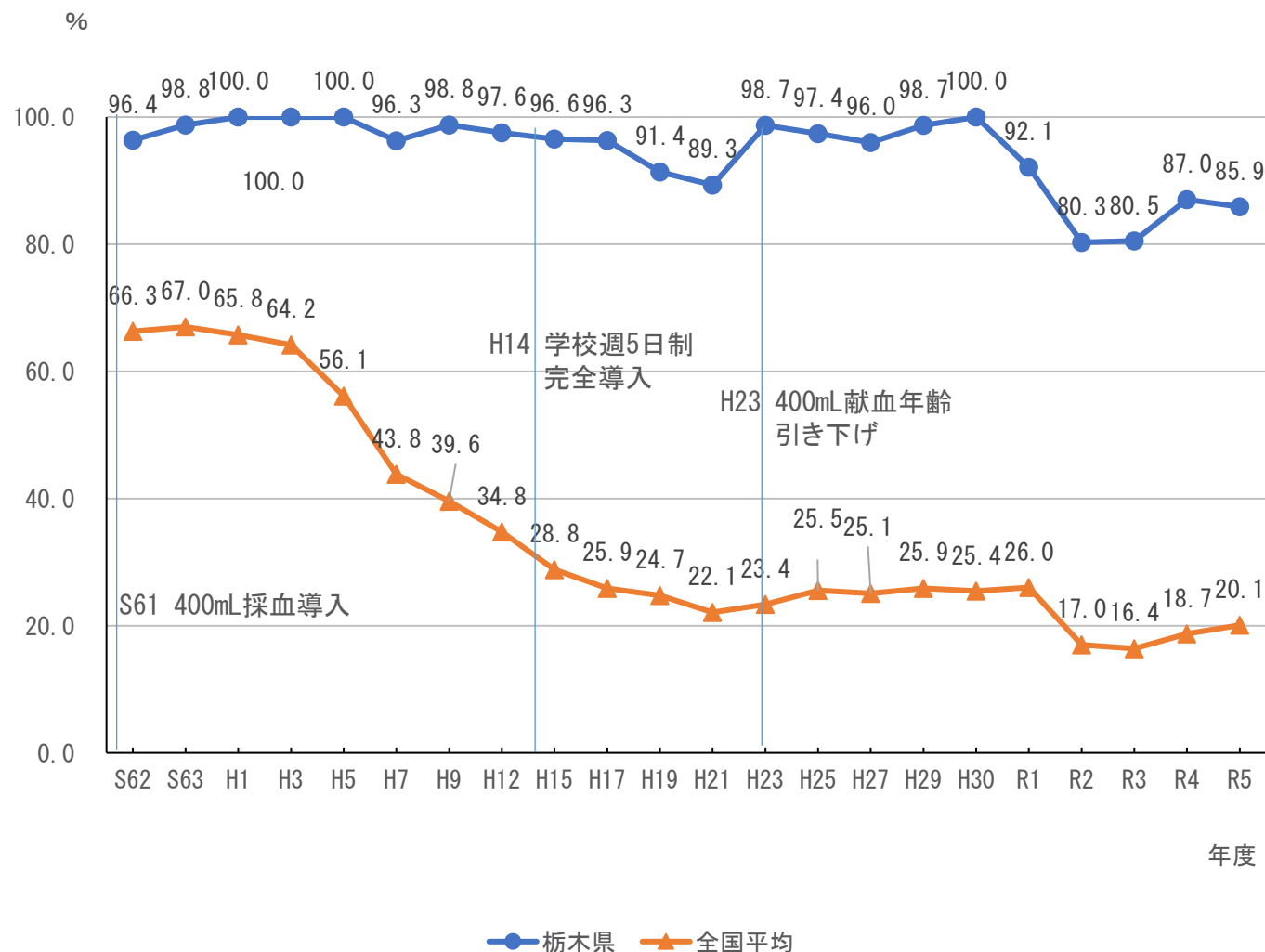
年代別献血率（％）

	16-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	全体
栃木県	11.4	6.6	6.7	8.2	10.2	5.0	7.7
全国	4.7	5.2	5.2	6.4	8.7	5.0	6.2

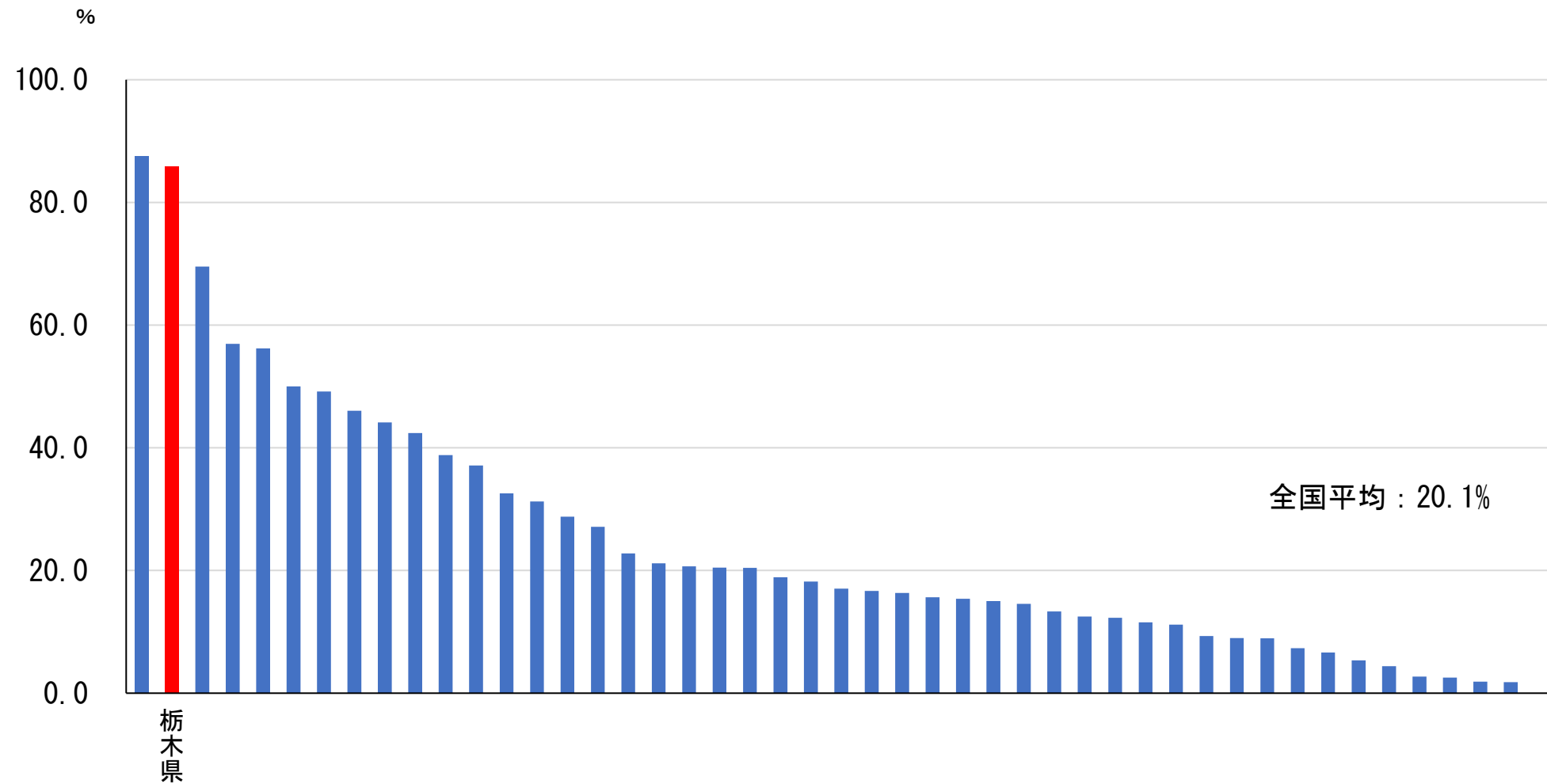
* 令和6年度血液事業年度報から（日本赤十字社血液事業本部）

高校献血実施率の推移

- 全国の高校献血実施率は昭和63年度の67%をピークに減少し、平成6年度には、50%を下回った。その後も、緩やかに減少し続け、平成15年度以降は10～20%台で推移している。
- 栃木県では、新型コロナウイルス感染症等の流行により80%台となったものの、令和4年度以降は、85%を超える高い実施率となっている。

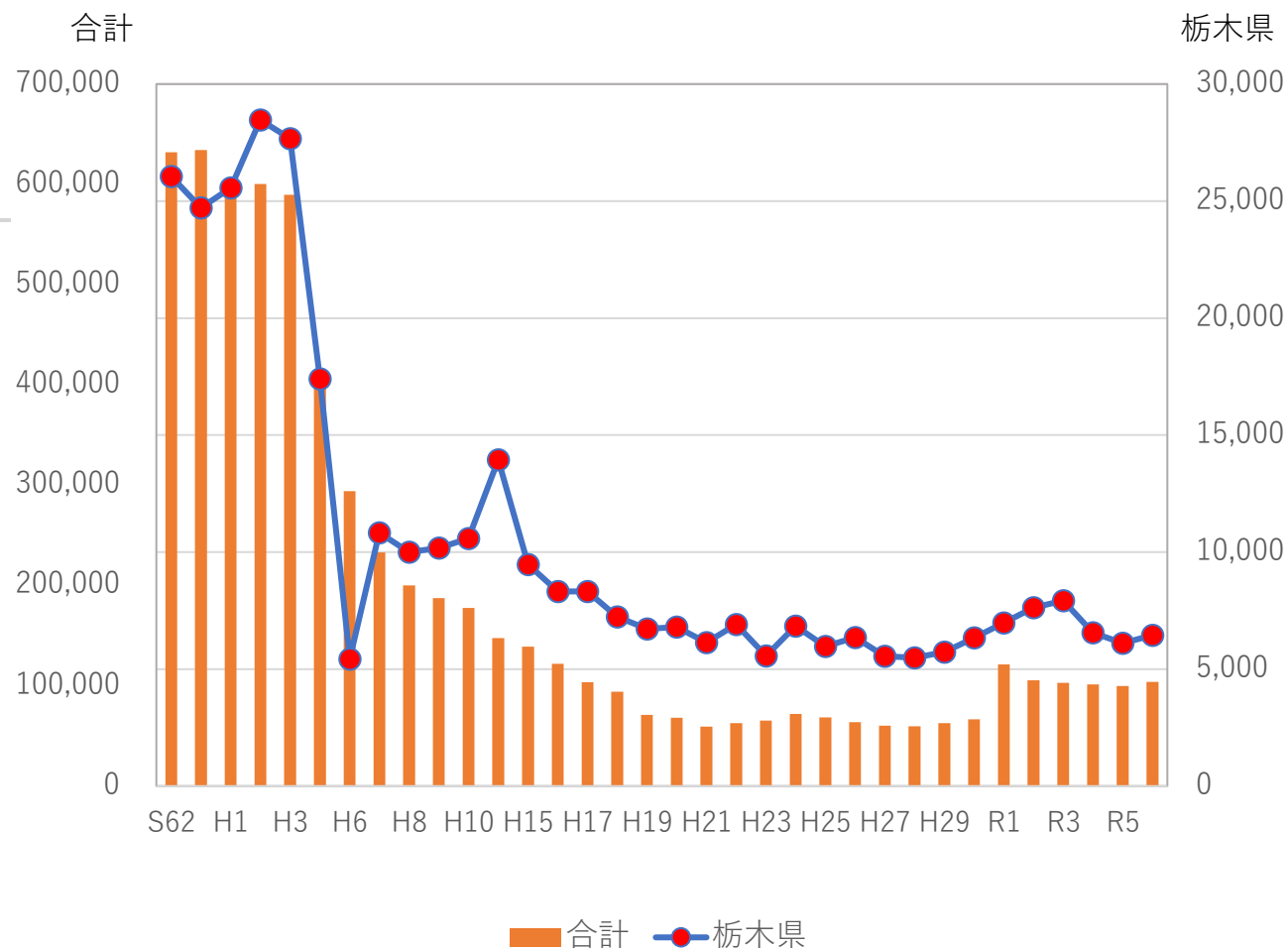


令和 5 年度都道府県別高校献血実施率



高校生献血者数の推移

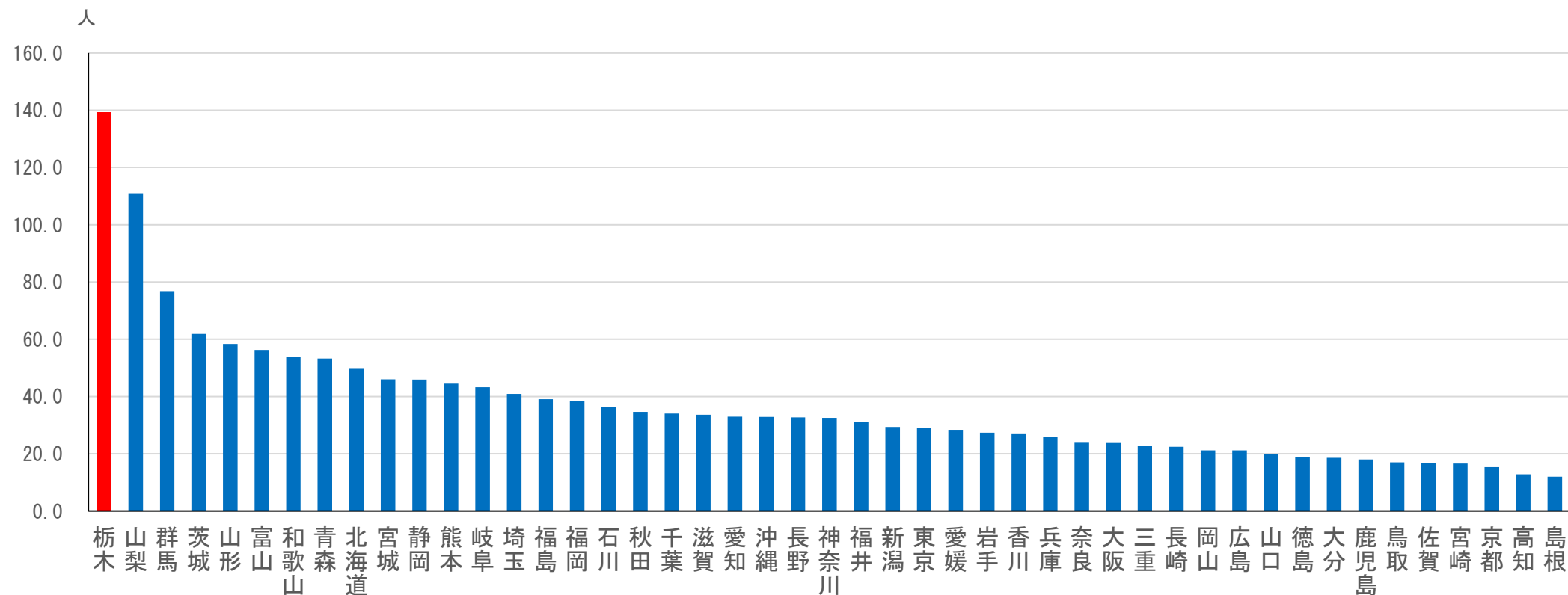
- 全国の高等学校献血者数は昭和63年度の634,096人をピークに減少し、平成6年度には、30万人を下回った。その後減少し、近年は10万人程度で推移し、ピーク時の6分の1程度となっている。
- 栃木県では、平成3年度までは、2万5千人程度であったが、その後減少し、近年は約6千5百人程度で推移し、ピーク時の4分の1程度となっている。



* 日本赤十字社データから (H4、H11、H13、H14年度は調査未実施)

令和6年度 高校生1,000人当たり都道府県別高校生献血者数

- 栃木県の高校生1,000人当たりの献血者数は139.4人で**全国1位**。
なお、令和6年度の栃木県高校生献血者数は6,445人で**全国3位**。



* 高校生献血者数は令和6年度血液事業年度報から(日本赤十字社血液事業本部)

* 高校生徒数は令和6年度学校基本調査から(文部科学省)

- 栃木県はこれまで高校献血を継続的に実施してきたことで、学校に献血協力を理解されやすく、高校献血実施率が全国2位、高校生1,000人当たり高校生献血者数が全国1位となっている。
- 10代と比較すると、**20代の献血率が低く**、大学生や新社会人の献血者数の増加が課題である。

年代別献血率（％）

	16-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	全体
栃木県	11.4	6.6	6.7	8.2	10.2	5.0	7.7
全国	4.7	5.2	5.2	6.4	8.7	5.0	6.2

* 令和6年度血液事業年度報から（日本赤十字社血液事業本部）

若者が集まるエリアに 設置されたディスプレイ による情報発信

「はたちの献血」キャンペーンにあわせて、デジタルサイネージ広告を掲載。

期間：令和7年1月～2月

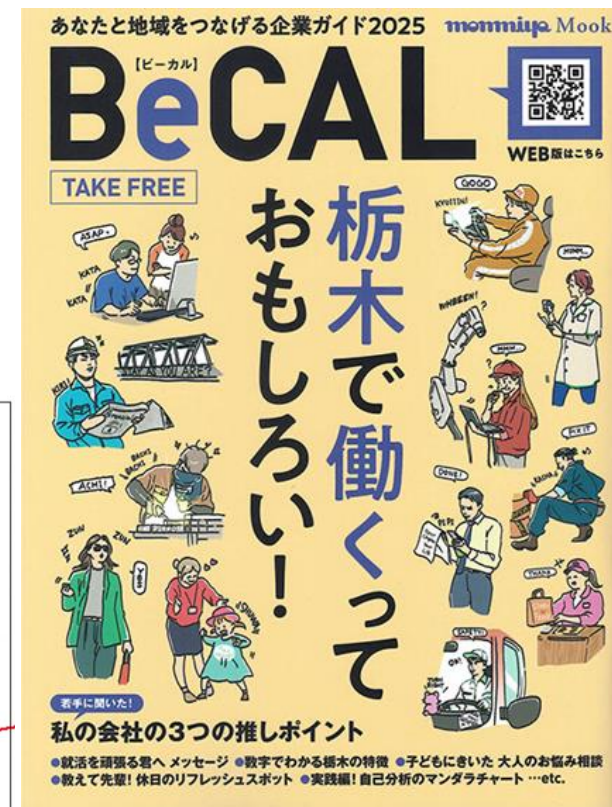
場所

- 宇都宮駅東口エリア（左上）、
- LRT宇都宮大学陽東キャンパス停留所ホーム（右上）



栃木県宇都宮市・芳賀町を
走るLRT「ライトライン」

県内の企業の魅力や求人情報を紹介しているフリーマガジン「BeCAL」に献血への理解と協力を呼びかける広告を掲載。



バス車内の つり革カバーに 広告を掲載

「はたちの献血」キャンペーン
にあわせて、広告を掲載。

期間：令和7年1月20日～2月19日



続けてね♡ 献血カード事業

献血に協力していただいた高校の3年生全員にオリジナル献血カードを配布し、高校卒業後、一定期間内に献血をした方に記念品を配布。

行こうよ！献血

献血は、病気の治療や手術などで血液を必要としている人のために、自ら進んで血液を提供する“身近なボランティア”です。200mL献血は男女ともに**16歳**からできます。



続けてね♡献血カード

患者さんの命を助けるためには、**若い世代のみなさんの協力が必要です。**ぜひ、これからも献血を続けてください！

カードの仕組み

♡カードを持参して、栃木県内の血液センターや献血ルーム、献血バスで献血をしていただいた際に、「ありがとう」の気持ちを込めて、プレゼントをさしあげます。



※このカードは配布された方ご本人のみ使用できます。他人に貸したり、あげたりしないでください。

献血WEB会員サービス「ラブラッド」に登録しよう！

- ♡献血記録の確認、献血の予約が可能です。
- ♡ポイントをためて記念品と交換できます。



続けてね♡献血カード プレゼント引換券

献血者コード

氏名

有効期限
R10(2028).3.31
栃木県内のみ有効

献血基準

献血の種類	全血献血		成分献血
項目	200mL	400mL	血漿・血小板
年齢	16歳から	男性 17歳から 女性 18歳から	18歳から
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上

献血の間隔

※一部例外があります。
詳細はお問い合わせください。

今回の献血	全血献血		成分献血
項目	200mL	400mL	血漿・血小板
200mL・400mL	4週間後	男性12週間後 女性16週間後	2週間後
成分献血		8週間後	

献血できないけど手伝えることはある？

献血のことをもっと多くの人に知ってもらうため、学生ボランティア「かけはし」が活動しています。ぜひ一緒に活動してください！

Instagram kakehashi_tochigi

血液センター献血推進課 028-659-0114

献血はどこでできるの？

日本赤十字社の献血ルームや献血バスで献血できます。栃木県では、以下の場所で献血できます。



献血にご協力をお願いします

栃木県赤十字血液センター

場所：宇都宮市今宮4-6-33
TEL：0120-940-382

うつのみや大通り献血ルーム

場所：宇都宮市大通り2-1-5
明治安田生命ビル1階
TEL：0120-305-095

お問い合わせは

栃木県医療・生活衛生課
TEL：028-623-3119
栃木県赤十字血液センター
TEL：028-659-0114

献血バスが県内各地にお伺いしています。
献血バスの運行予定はホームページへ！



栃木県学生献血推進連盟 「かけはし」の活動

県内の大学の献血推進サークルで結成したボランティアで、献血への理解を深め、積極的に献血の推進をするとともに、各大学との情報交換及び親睦を深めることを目的として活動。

○活動内容

- ・ 定例会（月1回）
- ・ 日々の街頭献血会場での広報活動や献血者・同伴者への接遇（おもてなし）
- ・ 献血イベントの主催・企画運営



献血セミナー の実施

令和 7 年10月17日

県内中学や高校を中心に、献血の意識理解の促進を目的とした「献血セミナー」を実施。



まとめ

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、献血人口が減少する中、将来の血液製剤の安定供給体制を確保するためには、若年層の献血者数の増加は、重要な取組である。

栃木県では、継続した高校献血の実施等により、若年層のうち特に10代の献血者の確保は全国的に高位となっている。

一方で、20代の献血率は10代の献血率より低いことから、高校献血に協力していただいた学生が将来にわたり継続して献血してもらえる取組や、20代から初めて献血に協力いただける機会を創出する取組など、若年層に効果的な活動を実施していくこと等により、引き続き、若年層の献血者数の確保に努めていく。